

中学校音楽科学習指導案

1. 題材名 日本伝統的な歌唱の特徴を捉えて表現・鑑賞し、長唄「勸進帳」のよさを味わおう(4時間)

2. 題材のねらい

本題材は長唄「勸進帳」の一部を取り上げ、表現(歌唱)と鑑賞を関連付けて構成した題材である。

日本伝統的な歌唱の特徴に関心を持ち、音色(長唄の発声による声の音色)、リズム(間)、旋律(節回し、産字、唄い尻)などを知覚し、それらが生み出す特質や雰囲気を感じながら、登場人物の心情などをとらえて、長唄にふさわしい声や言葉の特性を生かした音楽表現をするために、長唄らしく唄うための発声、言葉の発音や抑揚、身体の使い方などを追求して、音楽表現の創意工夫をする。その上で、長唄の音楽を形づくっている要素の知覚・感受を深めながら、長唄の特徴を物語や歴史などと関連付けて理解し、長唄「勸進帳」のよさを味わって聴く。この学習を通して、日本伝統的な声のよさを感じ取るとともに日本の音楽文化に対する理解を深めることにつなげたい。

3. 学習指導要領の指導事項(第2学年及び第3学年)

【A表現：歌唱】

イ 曲種に応じた発声や言葉の特性を理解して、それらを生かして歌うこと。

【B鑑賞】

ア 音楽を形づくっている要素や構造と曲想とのかかわりを理解して聴き、根拠をもって批評するなどして、音楽のよさや美しさを味わうこと。

イ 音楽の特徴をその背景となる文化・歴史や他の芸術と関連付けて理解して、鑑賞すること。

【共通事項】

ア 音色、リズム、速度、旋律、テクスチャ、強弱、形式、構成などの音楽を形づくっている要素や要素同士の関連を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じること。

イ 音楽を形づくっている要素とそれらの働きを表す用語や記号などについて、音楽活動を通して理解すること。

4. 題材の目標

(1) 日本伝統的な声の特徴や長唄に関心を持ち、長唄の発声による声の音色、間、節回し、産字、唄い尻などを知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、主体的に長唄を歌唱したり鑑賞したりする。

(2) 登場人物の心情などをとらえて、長唄らしく唄うための発声、言葉の発音や抑揚、身体の使い方などを追求し、創意工夫をして歌唱する。

(3) 長唄の特徴を物語や歴史などと関連付けて理解し、長唄のよさを味わって鑑賞する。

5. 題材の指導内容

- ・日本の「伝統的な歌唱における声の特徴」や長唄への関心。
- ・長唄の発声による声の音色、間、節回し、産字、唄い尻などの知覚と、それらが生み出す特質や雰囲気への感受。

- ・長唄らしく唄うための発声、言葉の発音や抑揚、身体の使い方などを追求し、それらを生かした音楽表現の創意工夫。
- ・長唄の特徴と物語や歴史とを関連付けての理解。

6. 教材

長唄「勸進帳」から『旅の衣は篠懸の～月の都を立ちいでて』まで
 (三世 並木五瓶作 四世 杵屋六三郎作曲)

*教材資料 DVD 歌舞伎「勸進帳」(松本幸四郎・市川染五郎 999回静岡記念公演)

C D 歌舞伎「勸進帳」より(教育芸術社)(教育出版)

音源 「旅の衣は～月の都を立ちいでて」 長唄協会：今藤政貴

7. 題材の評価規準

音楽への関心・意欲・態度	音楽表現の創意工夫	音楽表現の技能	鑑賞の能力
① 我が国の伝統的な歌唱の表現ができるような発声や言葉の特性などに関心を持ち、それらを生かして唄う学習に主体的に取り組もうとしている。(歌唱)	音楽を形づくっている音色、リズム、旋律を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、我が国の伝統的な歌唱の表現ができるような発声や言葉の特性を理解して、それらを生かした音楽表現を工夫し、どのように唄うかについて思いや意図をもっている。	我が国の伝統的な歌唱の表現ができるような発声や言葉の特性を生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付けて唄っている。	①音楽を形づくっている音色、リズム、旋律を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じている。 ②音色、リズム、旋律を知覚・感受しながら、我が国の伝統音楽の特徴をその背景となる文化・歴史などと関連付けて理解し、根拠をもって批評して音楽のよさを味わって聴いている。
② 音楽を形づくっている音色、リズム、旋律と曲想とのかかわり、我が国の伝統音楽の特徴とその背景となる文化・歴史との関連に関心を持ち、鑑賞する学習に主体的に取り組もうとしている。(鑑賞)			

8. 学習活動に即した実際の評価規準、評価方法など

音楽への関心・意欲・態度	音楽表現の創意工夫	音楽表現の技能	鑑賞の能力
①長唄にふさわしい発声や言葉の特性などに関心を持ち、それらを生かして歌う学習に主体的に取り組もうとしている。(歌唱) 【観察】【学習カード】	①長唄の発声による声の音色、間、節回し、産字、唄い尻などを知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じている。【図形楽譜】	長唄にふさわしい声や言葉の特性を生かした音楽表現をするために必要な、長唄らしく唄うための発声、言葉の発音や抑揚、身体の使い方などの技能を身に付けて唄っている。 【観察】【演奏】	①長唄の発声による声の音色、間、節回し、産字、唄い尻などを知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じている。 【図形楽譜】
②長唄の発声による声の音色、楽器の音色、間、節回し、産字、唄い尻などと曲想とのかかわり、長唄の特徴と物語や歴史などとの	②知覚・感受しながら、長唄にふさわしい声や言葉の特性を理解して、それらを生か		②知覚・感受しながら、長唄の特徴を物語や歴史などと関連付けて理解して、解釈したり価値を考えたりし、根拠をもって批評するなどして長

<p>関連に関心をもち、鑑賞する学習に主体的に取り組もうとしている。(鑑賞)</p> <p>【観察】【学習カード】</p>	<p>した音楽表現を工夫し、どのように唄うかについて思いや意図をもっている。</p> <p>【発言】【学習カード】</p>		<p>唄のよさなどを味わって鑑賞している。</p> <p>【発言】【批評文】</p>
---	---	--	--

9. 指導と評価の計画 (4時間扱い)

時	■ねらい 学習内容 ○学習活動	《評価規準》 【評価方法】
<p>第一時</p>	<p>■日本の伝統的な声の特徴や長唄に関心をもち、主体的に長唄「勸進帳」を歌唱したり鑑賞したりする。</p> <p>1. CDで、長唄「勸進帳」の一部を聴き、長唄の声の音色、リズム、旋律の雰囲気や味わいなどに関心をもつ。</p> <p>①長唄「勸進帳」の「旅の衣は～しおるらん」の部分を聴いて、長唄にふさわしい発声や言葉の特性(言葉の抑揚、言葉のもつリズムなど)に関心をもって聴き、気が付いたことや感じたことを学習カードに記入する。</p> <p>②「月の都を立いでて」の部分を聴いたり、声を出して唄ったりして、長唄の発声による声の音色、間、節回し、産字、唄い尻と曲想とのかかわりなどに関心をもち、リズム、旋律の動き、曲想などで気が付いたことを学習カードに記入する。また、気づいたこと、感じたことを自由に話し合う。</p> <p>③長唄の特徴について自分で知覚・感受した言葉が、長唄に関する用語「節回し」「ゴロ」「産字」「唄い尻」のどれにあたるか矢印線で結びつけ、音楽と用語を結び付けて理解する。</p> <p>2. 長唄「勸進帳」の冒頭部分の登場人物の写真や演奏映像DVDをみたりして、特徴やイメージをつかむ。</p> <p>①あらすじ・物語を知り、登場人物の人物像をつかむ。</p> <p>②「安宅の関所」の場所や歴史的な背景を知る。</p> <p>③長唄は、唄以外に三味線やお囃子によって演奏されていることに気づかせる。</p> <p>3. 歌舞伎について知る。</p> <p>○教科書などの資料や教師の話から、歌舞伎が、歌(音楽)・舞(舞踊)・伎(演技)からなる総合芸術であることなどについて知り、学習カードにまとめて、理解する。</p>	<p>《音楽への関心・意欲・態度①》 (歌唱)</p> <p>長唄にふさわしい発声や言葉の特性などに関心をもち、それらを生かして唄う学習に主体的に取り組もうとしている。</p> <p>【学習カード No1】</p> <p>《音楽への関心・意欲・態度②》 (鑑賞)</p> <p>長唄の発声による声の音色、楽器の音色、間、節回し、産字、歌い尻などと曲想とのかかわりや長唄の特徴と物語や歴史などとの関連に関心をもち、鑑賞する学習に主体的に取り組もうとしている。</p> <p>【観察】【学習カード No1】</p>
<p>第二時</p>	<p>■長唄の発声による声の音色、間、節回し、産字、唄い尻などを知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感受する。</p> <p>1. 長唄「勸進帳」の冒頭部分の歌詞の意味と登場人物の心情を意見交換しながら、理解する。</p> <p>2. 「旅の衣は～しおるらん」の部分を聴いて、音楽的な特徴を捉えて唄ってみる。</p> <p>①謡ガカリ「旅の衣は篠懸の～」を聴きながら、節回しや歌い尻、産字を捉え、線などを使って学習カードに記入する。</p>	
<p>第</p>		

<p>二時 本時</p>	<p>②義経や弁慶たちがどんな心情であったのかを感じ取り、どの部分からその気持ちが伝わってくるのかを考えて、唄ってみる。</p> <p>3. 「月の都を立ちいでて」の部分を聴いて、音楽的な特徴を捉えて唄ってみる。</p> <p>①外記ガカリ「月の都を 立ちいでて」の部分を、まずは自分で聴いたり唄ったりして、声の音色、間、節回し（ゴロ）、産字、唄い尻などを知覚・感受し、言葉や線、母音（あいうえお）などを用いて、学習カード（以後、図形楽譜）に記録する。</p> <p>②「月の都を立ちいでて」の部分を視聴し、義経や弁慶たちがどんな心情であったのか、どの部分からその気持ちが強く伝わってくるのかを考えて、唄ってみる。</p> <p>②グループに分かれて、「立ちいでて」の部分について、書いたものを基に意見交換し合う。CDを繰り返して聴き、声の音色、間、節回し（ゴロ）、産字、唄い尻などを知覚し、ホワイトボードに図形楽譜を作り、何回も唄い、自分たちで試行錯誤しながら、完成させていく。</p> <p>4.グループの完成したものを掲示して、特徴のある部分をどのように捉えたのか、工夫したのか、意見交換し合い、共有する。</p> <p>①グループごとに、自分たちが捉えた特徴や登場人物の心情について発表し、唄ってみる。</p> <p>②グループの図形楽譜を見て、自分でもう一度唄いながら、学習カードに個人の図形楽譜として、色ペンで補充記入する。</p> <p>5. 「月の都を立ちいでて」の部分の特徴を捉えて、全員で唄う。</p>	<div style="border: 1px solid black; padding: 10px; margin-bottom: 10px;"> <p>《鑑賞の能力ー①》</p> <p>長唄の発声による声の音色、間、節回し、産字、唄い尻などを知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じている。</p> <p style="text-align: right;">【図形楽譜 No2-5】</p> </div> <p>《音楽表現の創意工夫ー①》</p> <p>長唄の発声による声の音色、間、節回し、産字、唄い尻などを知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じている。</p> <p style="text-align: right;">【図形楽譜 No2-5】</p> <p>↑◎表現と鑑賞の授業を関連付けたことで、2つの分野における「音楽的な感受」の部分と同じ時間に評価することができる。</p>
<p>第三時</p>	<p>■登場人物の心情などをとらえて、長唄らしく唄うための発声、言葉の発音や抑揚、身体の使い方などを追求し、創意工夫をして歌唱する。</p> <p>1. 「月の都を立ちいでて」の部分の特徴を捉えながら、音楽表現の創意工夫をする。</p> <p>①これまで学習してきたことを振り返り、「月の都を立ちいでて」の部分で声の音色、間、節回し（ゴロ）、産字、唄い尻などを知覚・感受したことを生かして唄う。</p> <p>②「月の都を立ちいでて」の前後の部分について、DVDを視聴し、長唄らしく唄うための発声、言葉の発音や抑揚、身体の使い方などに着目して聴き、気が付いたことを学習カードに記入する。</p> <p>③知覚・感受した長唄の特徴と登場人物の心情とをかかわらせながら、長唄らしく唄うための発声、言葉の発音や抑揚、身体の使い方などを追求し、創意工夫する。</p> <p>2. 「月の都を立ちいでて」の部分について、思いや意図をもって、演奏発表をする。</p> <p>①自分が工夫した部分を、どのように唄うかについて、思いや意図をもつ。</p> <p>②これまで学習してきた長唄の特徴と長唄にふさわしい発声や言</p>	<p>《音楽表現の創意工夫ー②》</p> <p>知覚・感受しながら、長唄にふさわしい発声や言葉の特性を理解して、それらを生かした音楽表現を工夫し、どのように唄うかについて思いや意図をもっている。</p> <p style="text-align: right;">【学習カード No2-6】</p> <p>《音楽表現の技能》</p> <p>長唄にふさわしい声や言葉の特性を生かした音楽表現をするために必要な、長唄らしく唄うための発声、言</p>

	<p>葉の特性を生かし、長唄らしく唄うための発声、言葉の発音や抑揚、身体の使い方などに気をつけながら、演奏発表する。</p> <p>③仲間の演奏発表を聴いた感想を交流する。</p>	<p>葉の発音や抑揚、身体の使い方などの技能を身に付けて唄っている。</p> <p style="text-align: right;">【観察】【演奏】</p>
<p>第 四 時</p>	<p>■長唄の特徴を物語や歴史などに関連付けて理解し、長唄のよさを味わって鑑賞する。</p> <p>1. 長唄「勸進帳」の「旅の衣は篠懸の～海津の浦に着きにけり」の部分を、長唄（唄・三味線・囃子）の特徴と物語や歴史などに関連付けて理解して、鑑賞する。</p> <p>①日本の伝統的な歌唱（長唄）の特徴を感受しながら、長唄の楽器や演奏形態を知り、唄と楽器（三味線やお囃子）との合わせ方に着目して聴き、学習カード（批評文）に記入し、意見交流する。</p> <p>②長唄（唄・三味線・囃子）と富樫と番卒などのセリフとのかかわり、義経・弁慶一行が出てくる物語や歴史的な背景による心情などに着目して聴き、学習カード（批評文）に記入し、意見交流する。</p> <p>2. 今まで学習してきたことを基にして、長唄「勸進帳」の「旅の衣は篠懸の～海津の浦に着きにけり」の部分全体を鑑賞し、批評文を書く。</p> <p>①これまで学習してきた内容を振り返り、長唄「勸進帳」の「旅の衣は篠懸の～海津の浦に着きにけり」の部分を DVD で視聴する。</p> <p>②日本の「伝統的な歌唱の特徴」として知覚・感受したことや、長唄（唄・三味線・囃子）の特徴を物語や歴史などに関連付けて理解して、鑑賞したことを基にして、「日本の伝統的な歌唱の特徴と長唄のよさ」について自分なりの考えをまとめ、批評文を書く。</p> <p>③最後に自分なりに書いた「批評文」を、クラスで数名選び発表する。</p> <p>3. 本題材の学習内容を全体で共有し、題材のまとめを行う。</p>	<p>《音楽への関心・意欲・態度②》 (鑑賞)</p> <p>長唄の発声による声の音色、楽器の音色、間、節回し、産字、唄い尻などと曲想とのかかわりや長唄の特徴と物語や歴史などとの関連に関心を持ち、鑑賞する学習に主体的に取り組もうとしている。</p> <p style="text-align: right;">【批評文 No3】</p> <p>《鑑賞の能力②》</p> <p>知覚・感受しながら、長唄の特徴を物語や歴史などに関連付けて理解して、解釈したり価値を考えたりし、根拠をもって批評するなどして長唄のよさなどを味わって鑑賞している。</p> <p style="text-align: right;">【発言】【批評文 No3】</p>

10. 前後の題材との関連

前 時 の 題 材	「三味線の基礎的な奏法を身に付けて、長唄を演奏してみよう！」 【A表現：器楽】
	教材：「基礎練習曲」「寄せの合方」
	<ul style="list-style-type: none"> ○三味線の音色や基礎的な奏法に関心をもつ。 ○長唄「勸進帳『寄せの合方』」の曲想を味わい、三味線の奏法によるさまざまな音色、間、音のつながり方などを知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じ取る。 ○「勸進帳」の登場人物とあらすじを知り「寄せの合方」をどう演奏するか思いや意図をもつ。 ○三味線の特徴を理解し、音色や奏法を生かして演奏表現するために必要な技能を身に付ける。



本 題 材	「日本の伝統的な歌唱の特徴を捉えて表現・鑑賞し、長唄「勸進帳」のよさを味わおう」 【A表現：歌唱】 + 【B鑑賞】
	教材：長唄「勸進帳」 謡ガカリ「旅の衣は篠懸の」外記ガカリ「月の都を 立ちいでて」
	<ul style="list-style-type: none"> ○日本の伝統的な声の特徴や長唄に関心をもつ。 ○長唄の発声による声の音色、間、節回し、産字、唄い尻などを知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じ取る。 ○登場人物の心情などをとらえて、長唄らしく唄うための発声、言葉の発音や抑揚、身体の使い方などを追求し、創意工夫をして歌唱する。 ○長唄の特徴を物語や歴史などと関連付けて理解し、長唄のよさを味わって鑑賞する。



後 時 の 題 材	「歌舞伎とオペラの音楽の特徴を捉え、他の芸術と関連付けて、それぞれのよさや美しさを味わおう」 【B鑑賞】
	教材：歌舞伎「勸進帳」、オペラ「アイダ」など
	<ul style="list-style-type: none"> ○オペラの声の音色、リズム、旋律などを知覚・感受し、長唄と比較しながら、特徴を捉える。 ○歌舞伎の概要（下座音楽や長唄、物語、美術、演劇、舞踊、舞台など）とオペラの概要（音楽、物語、美術、演劇、バレエ、舞台など）を知り、比較しながら特徴を理解する。 ○オペラ「アイダ」第2幕第2場の音楽を形づくっている要素や構造を知覚・感受し、音楽の特徴を物語、美術、演劇、バレエなどと関連付けて理解し、鑑賞する。 ○歌舞伎「勸進帳」の音楽の特徴を、物語、美術、演劇、舞踊などと関連付けて理解し、鑑賞する。 ○歌舞伎やオペラにおける音楽の特徴や役割について、根拠をもって批評して、よさや美しさを味わって鑑賞する。